

公表日

8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 昭島たなか教室

保護者等数(児童数) 51名

回収数 27件(割合52.9%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	2		1	・子どもが活動している時に見たことがない。	・保護者様にもお子様の様子を見学していただいたりする機会を設けて行きたいと考えております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		6	・子どもが活動している時に見たことがない。	・利用人数に合わせて適切な人数配置で支援させていただいております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		1	・子どもが活動している時に見たことがない。	・安心して利用していただく為に、送迎時や連絡帳などを活用し、情報伝達などの配慮を適切に行うよう努めて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1		1		・今後も、営業開始前と営業終了時に清掃を行い、清潔な環境を提供して参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					・今後も、お子様主体で、楽しいと感じられるように様々な活動プログラムやイベントなど検討して参ります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					・今後も職員一人ひとりが保護者様のお悩みや相談窓口として対応できるよう努めて参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1			・計画にのせている目標が最近はどうかなど面談時とそれ以外でも聞きたい。	・面談時の他に、送迎時を活用し、情報伝達を適切に行うよう努めて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1			・とても工夫されていて子どもはいつも楽しんでいます。	・子どもたちの様子を観察し、職員間でプログラムの検討をする工夫をしながら、イベント等も取り入れて参ります。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	7	11		・外遊びを通じて、域の方々との交流を自然に持てるように努めて参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					・今後も、モニタリング面談を定期的に行い、「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行ってまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					・今後も、モニタリング面談を定期的に行い、「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	6	6		・活動風景や、職員の研修会の様子をSNSを活用しながら発信するよう努めて参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	27					・送迎の兼ね合いで限られたお時間ですが、今後もフィードバックをしっかりとできるように努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1				・今後も、モニタリング面談を行い、お子様の近況の様子や保護者様のお悩みをお聞きできるように努めて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25			1		・今後も、職員一人ひとりが、お子様の近況の様子や保護者様のお悩みをお聞きできるように努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	8	10		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	4		1		・ありがとうございます。今後もHUGなども活用しながら相談がしやすい環境・体制を整えて参ります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1				・お電話に限らず、申し送り時や、HUGなどを活用し、情報伝達が怠らない環境を整えて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		5		・イベント内容や支援の様子など定期的にSNS（インスタグラム）を活用し、発信して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26				1	・今後も、SNS（インスタグラム）の投稿時など個人情報の取扱いに注意しながら努めて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3	1	5		・SSTの活動を通じて避難訓練や感染症対策などを取り入れ、活動の様子をSNS（インスタグラム）などに発信して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	1	10		・避難訓練や感染症対策など研修の様子をSNS（インスタグラム）などに発信して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2			4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	21	2			4	・些細な事でもお伝えするようにしております。今後も、怪我など合った際は、迅速に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2				・今後もお子様も保護者様も安心して通所していただけるように努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2			・楽しんで通っています。 ・楽しく通っているので、ありがとうございます。	・ありがとうございます。保護者様も安心して通所していただけるように努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27					・ありがとうございます。より一層精進して参ります。

公表日

令和 8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 昭島たなか教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14		・支援室も広く、机や椅子を配置しても適切なスペースがある。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・利用者の人数に対して適切な人数配置でシフトを作成している。	・マンツーマン対応が必要な児童数が多い時に職員の人数が不安な時がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2	・必要に応じて模様替え片付けを行っている。 ・階段に手すりを配置し、バリアフリー化を行っている。	・教室内のスロープはなし。 ・ロッカーの配置は転倒危険がある為、配置方法の検討が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	・支援前、支援後の清掃、消毒を行い、清潔な環境である。	・運動遊び時など机やロッカーが教室内にあり、活動に合っていない。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	7	・パーテーションの使用	・個別の部屋が用意されていない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	2	・定期的な会議や、勉強会など必要に応じてミーティングを行う。	・日々の支援の中で振り返りまでできていない。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	・評価表の提示と改善を行っている。	・評価表の場所が分からない為、全体に共有する。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	・ミーティングを通して意見を出す場を設けている。	・時々、情報交換ができていない時がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	2	・SVにもチェックしてもらい、業務改善に取り組んでいる。	・評価結果が分からない為、共有が必要。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		・社内研修の他に外部研修にも取り組む。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		・利用者の様子に合わせ職員間で話し合い、作成している。 ・保護者にプログラム配布している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	1	・アセスメントから個別支援計画書を作成している。	・職員全体の共有が不足してしまう事がある。（非常勤職員に対して特に）
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		・日々のカンファレンスにより児童の支援への方向性など共有している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	2	・新しい計画書ができた際は全職員に目を通すようにしている。	・変更があった際に共有が不足してしまう事がある。（非常勤職員に対して特に）
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	2	・朝礼、終礼でも全体で共有している。 ・業務日報や連絡帳も活用しながらアセスメントを行っている。	・アセスメントシートが認識できていない職員もいる為、共有が必要。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		・児童一人ひとりの様子や、保護者のニーズにも合わせながら、作成している。 ・「家族支援」「移行支援」も設定されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	・細かく計画している。 ・定期的なミーティング	・プログラム会議内容の共有が不足してしまうことがある。（非常勤職員に対して特に）
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		・様々なプログラムを考え毎日違う内容を設定している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	2	・児童の特性に合わせて、全員が活動に参加できる様に考慮している。	・個別活動内容の共有が不足している。（非常勤職員に対して特に）
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		・朝礼後に、チームに分かれてミーティングを行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	・終礼を実施。	・送迎の時間や車の台数により、終礼に参加できない職員が多い。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1	・ヒヤリハットの作成、共有、カンファレンスの実施 ・HUGにて活動記録を取っている。	・記録されている場所を認識できていない職員もいる為、共有が必要。(非常勤職員に対して特に)
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		・半年(6ヵ月)に1度モニタリング面談を行う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	12	1	・集団プログラムに加え、余暇活動の提供もやっている。	・「4つの基本活動」を認識できていない職員もいる為、共有が必要。(新人職員や非常勤職員に対して特に)
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	12	2	・利用者の意思を尊重している。	・支援の工夫はされているものの、職員によって支援力の差が見られる為、統一した支援を心がける。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		・児童発達支援管理責任者やチームリーダーを中心に会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		・児童発達支援管理責任者を中心に関係機関との会議を実施。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校 時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか。	13		・送迎時などを活用して、学校との情報共有を大切にしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達 支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	4		・学校との情報共有は増えてきたが、保育所との連携が少ない為、増やしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	10	1	・様々な関係機関と情報共有を行っている。	・放課後等デイサービスから移行する児童がいなかったが、情報共有していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12		・子ども発達プラザホールとの連携や研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動 する機会があるか。	6	5	・公園での関わりは多い。	・児童館や学童クラブとの交流はなく、公園での関わりのみなので、増やしていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	3	・外部研修として参加することが増えた。	・(自立支援)協議会等へ参加する職員が常勤が多く、非常勤職員に対して共有が不足してしまうことがある。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	13	1	・連絡帳や送迎時に於いて確認をしている。	・新人職員や非常勤職員も多くの関わりを 持てる機会を増やしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	7	5	・個別支援計画書に家族支援も作成している。	・ペアレントトレーニングを行っていない。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	14		・契約時や見学時に必ず説明を行っている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の 意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	1	・定期的なモニタリングの実施。 ・保護者ニーズや本人ニーズを大切にしている。	・児童発達支援管理責任者を中心に子どもや家族の意向を確認している為、より多くの職員が確認できるように環境を作りたい。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		・定期的なモニタリングの実施。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や 必要な助言と支援を行っているか。	13	1	・定期的なモニタリングの実施。	・新人職員や非常勤職員も相談窓口になるように改善する。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	7		・きょうだい支援は行っていない。
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	14		・苦情があった場合については、全体でも共有し、必要に応じてミーティングを開くなどして同じ事が無い様に努めている。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信しているか。	14		・Instagramやホームページを活用している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		・外部に漏れることなく十分に留意している。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	13	1	・視覚的に分かりやすい内容で支援を行っている。	・手話等ができる職員が少ないため、口唇などを活用し、配慮できるように改善していく。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営 を図っているか。	6	6	・夏祭りイベントとして保護者を招待した。	・保護者に参加してもらったイベントの開催を行ったが、地域住民は招待できていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		・マニュアル作成と訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		・BCPの見直しと周知を徹底している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		・契約時や面談時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1	・アレルギー表を活用している。	・アレルギー表を認識できていない職員もいる為、共有が必要。（新人職員や非常勤職員に対して特に）
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		・安全管理を日々意識しながら過ごしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		・家族との連携を大切にし、安全確保に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		・小さな出来事でもヒヤリハットを作成し、ホワイトボードに一週間掲示する。 必要に応じてミーティングを開く。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		・虐待防止研修を年二回実施。 ・虐待の芽チェックリストも活用している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	2	・契約時に必ず説明し、個別支援計画書にも記載している。	・身体拘束を行う児童がいない。